

令和7年度（2025年度）事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

認定NPO法人まちづくりスポット恵み野

1 事業の成果

認定NPO法人まちづくりスポット恵み野は、「誰もがずっと幸せに暮らせるまちづくり」を目指し、人と人をつなぎ、多様な主体が協働する地域コミュニティの形成に取り組んでいる。また、目的達成のために実施する特定非営利活動に係る事業を以下のように定款に定めている。

- ① 交流スペースの利用促進に係る事業
- ② まちづくりの推進に係る事業
- ③ まちづくりに関わるネットワーク作りに係る事業
- ④ 人材育成及び研修に係る事業
- ⑤ まちづくりに関わる広報活動に係る事業
- ⑥ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

本年度は、法人の Value である「ひとをつなぐ」「場をつくる」「地域が成長するサイクルをつくる」を軸に、地域住民、学校、行政、企業、市民団体等との連携を深めながら、多世代が関わる地域づくりを推進した。

本年度は、すべての事業において「孤独・孤立対策」を重要な視点として位置付けた。地域社会におけるつながりの希薄化や、子ども・若者・高齢者を含む幅広い世代の孤立が課題となる中、「誰かと緩やかにつながれる場」を地域の中に増やすことを意識し、居場所づくりや対話の機会創出に取り組んだ。単に支援を提供するのではなく、一人ひとりが地域との接点や役割を持ち、「必要とされている」と感じられる関係性づくりを重視した一年であった。

① 交流スペースの利用促進に係る事業

法人併設の交流スペース「まちスポ恵み野」の貸し出しによって、市民が気軽に集い、交流できる環境整備を行った。本年度の利用会員数は43団体と昨年度より10団体増加し、来館者数は延べ4,847名であった。

恵庭市青少年育成補助金を活用し、自主事業として実施した「昔あそびひろば プンブンコマをつくろう」では、多くの親子が参加し、工作と昔あそびの体験機会を創出した。また、高校生や大学生など若者世代が企画運営に関わる機会を積極的に設けたことで、“参加者”から“担い手”へのステップアップが生まれている。小さな関わりから継続的な地域参加につながる循環が生まれたことは、当法人が Value の一つとして掲げる「地域が成長するサイクルづくり」の実践でもある。

さらに、商業施設内に事務所を構えていることを強みに、展示や出展用の備品レンタル事業も実施している。定期的な利用実績も生まれ、単発的なイベント実施にとどまらず、「やってみたい」という市民の思いを地域活動へとつなぎ、継続的な参加と関係性を育むことができた。

② まちづくりの推進に係る事業

プロジェクト① 花のまちづくり推進事業「みんなのガーデンプロジェクト2025」

当法人の事務所がある商業施設「フレスポ恵み野」の正面に広がるコミュニティキッチンガーデン「めぐみの丘」を中心とした環境・景観活動と花のまちづくりへの参画を継続した。めぐみの丘は、次年度以降のプロジェクトの充実を目的に改修し、レイズドベッドの設置や病気の樹木の伐採などを実施。子ども達との収穫体験と花を活用したワークショップ開催、次年度に向けての交流会「花や野菜が好きな方集まろう会」を実施した。恵庭の花のまちづくりを象徴するイベント「恵庭花とくらし展」や花のまちづくりにかかわる人たちが学ぶ「花のまちづくり講演会」の企画・運営を支援した。花のまちづくりへの様々な形でのかかわりがあり、市内の花のまちづくり団体へも

参画している。

今年度は、例年実施している講座は開催しなかったが、地域住民や子どもたちが自然や地域資源に触れる機会を創出できた。めぐみの丘でのガーデン活動を通じて、多世代が自然に交流する場が生まれることを実感できた。子どもたちが主体的に活動へ参加することで、環境教育や地域への愛着形成にもつながっている。

プロジェクト② 防災啓発事業

乳幼児を育てる保護者が気軽に参加できる場づくりを通じて、家庭での備えや非常時の行動を学ぶことを目的に、「mamacafé×防災」を実施した。恵庭市基地・防災課の出前講座を利用し、災害時に必要な物資の選び方、子どもの安心を守るための声かけ、地域で助け合う仕組みなどを、座学と体験形式で分かりやすく紹介いただいた。防災食を実際に作って試食し、参加者からは「家庭での備蓄を見直すきっかけになった」「地域とのつながりの大切さを実感した」といった声が寄せられ、子育て世帯の防災意識向上に寄与した。

また、恵庭市災害時ボランティアセンター連絡会議への参加や北の国災害サポートチームへの参加などで学びを増やし、当法人の協力が可能なことを共有することで、ネットワークを広げている。

プロジェクト③ 子どもの生活・学習支援事業「smile ハウス」

恵庭市えにわっこ応援センターより委託を受け、学習機会の保障と食事の支援だけでなく、安心して過ごせる居場所づくりを重視した運営を実施している。経済的事情や不登校傾向など、多様な背景を持つ子どもたちが継続的に参加。調理担当の地域ボランティアや学習支援の大学生等との関わりを通して、多様な価値観や人とのつながりを得る機会となっている。学習支援のみならず、対話や体験活動を通じた自己肯定感の向上、生活習慣の安定、社会的孤立の予防にも一定の成果が見られた。継続参加する子ども達や保護者からは、「安心して通える場所があることが支えになっている」との声も寄せられている。特に本年度は、過去に参加者であった子どもたちが、高校進学を機に学生ボランティアとして再び事業に関わる姿が見られた。これは、事業開始当初から目標としてきた「地域の担い手を育成する」という理念が、実際の循環として地域の中で生まれ始めていることを示す大きな成果である。支援を受ける立場だった子どもたちが、今度は年下の子どもたちに寄り添い、地域の一員として活動へ参画していることは、当法人が Value の一つとして掲げる「地域が成長するサイクルづくり」の実践と言える。参加者自身が地域とのつながりを持ち続け、「ここに居場所がある」「地域に役割がある」と感じられることは、孤独・孤立対策としても重要な意味を持っている。

プロジェクト④ フードバンク事業

恵庭市より食品ロス対策補助金の交付を受け、設備や運営体制の充実を図り、地域の食支援体制の強化と食品ロス削減の推進に取り組んだ。企業や個人から約 3,667kg の食品（野菜：915kg、お米：218kg、その他食品：2,534kg）、多数の日用品の寄付を受け、安定的な食品や日用品の確保を実現した。これらの食品は、当法人が連携する食支援団体へ提供され、団体を通じてより多くの必要な方々へ支援が届く仕組みを整えた。団体を通じた間接支援の拡大により、地域全体での支援網の強化に寄与したことは大きな成果である。

定期的実施したフードパントリーは、コミュニティフリッジ恵庭の利用対象外の方へ支援するとともに、フードバンクの存在を広く周知した。市民が食品ロス対策自分事として考え、食品寄付が増加し、幅広い年齢層の寄付者が生まれた。

当法人事務所の隣に位置するフードバンク施設「コミュニティフリッジ恵庭」については、24 時間利用可能な仕組みを維持しつつ、無人であることから、抵抗なく利用できる環境を整備した。恵庭市の協力により、対象者である市内在住の児童扶養手当受給世帯や就学援助受給世帯への周知ができており、セーフティネットとしての役割を一層強めた。さらに、多文化共生を目的に、市内在住の外国人技能実習生の利用登録も進めている。

利用者からは、食の確保だけでなく、孤立感の軽減や安心感の向上といった心理的效果も確認されている。フードバンク事業は、多くの寄付者の善意と、日々の運営を支えるボランティアの協力によって成り立っている。この活動は、地域住民・企業・行政との協働を深め、恵庭市における持続可能な支え合いの基盤形成に大きく寄与したものである。

プロジェクト⑤ 対話によるまちづくり事業

恵庭市教育委員会と協働事務局のコミスク PLUS では、「コミスクかふえ」を継続実施した。市内各校のコミュニティスクール関係者、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、教職員、保護者、地域住民等が立場を超え対話できる場を設けることで、各校の実践共有や課題の可視化が進んだ。学校単位で閉じるのではなく、市内全体で学び合うネットワーク形成を進めたことにより、新たな連携や協働のきっかけも生まれている。コミュニティスクールを制度として運営するだけでなく、「地域全体で子どもの育ちを支える文化」として根付かせること

を重視した取り組みとなった。

本年度の市内の地域コーディネーターの増員は、コミスクかふえ内で「コミュニティスクールの推進には、地域コーディネーター設置が必要」という声が多く聞かれたことに起因する。多様な市民の意見を行政につなげることでできた大きな成果と言える。

また、当法人が市民ファシリテーション講座を実施してきた経緯から、北海道立市民活動促進センターの地域の対話を支える新たな担い手である「市民ファシリテーター」に関する調査研究に協力した。調査結果は、広く市民に報告され、次年度も継続調査される。

③ まちづくりに関わるネットワーク作りに係る事業

プロジェクト① 子育て支援事業「mama café」

地域のママ達で構成される、おさがり交換会を実行団体の「つなぐme」と協働で、「まちスポ恵み野 おさがり交換会 with つなぐme」を開催することができた。つなぐme と今後の事業の在り方を話し合う中で、フリーマーケットへの転換が協議され、「つなぐme のフリーマーケット」を実施した。フリーマーケットも参加者に好評ではあるものの、担い手の負担感が課題として残った。今後の在り方もつなぐme と協議の上決定する予定であり、ボランティアとして作業を依頼するのではなく、主体性をもって事業に参画できる仕組みを作っている。

また、家庭教育支援チームである「えにわはぴナビネットワーク」や恵庭市教育委員会社会教育課と協働で、家庭教育イベント「えにわままつぶ」を開催。さらに、えにわ子育て応援隊が主催する「えにわ子育て応援フェス」の企画・運営を支援した。えにわ子育て応援フェスには、「ママの休憩室」として、ママ達が交流しながら、ほっと一息つける空間を出展した。子育て支援事業は、子育て世代のママ達の相互支援であることが多く、市民活動へのハードルを下げ、「地域課題解決に取り組みながら楽しく活動する」という市民活動の基本となる実践である。

プロジェクト② シーニック

当法人は、シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルート ウェルカム北海道エリアの情報拠点となっており、様々な機関との情報共有やえにわシーニックナイトなどへの協力を実施している。また、「キャンドルホルダーを作ろう」では、夜の外出が難しい未就学児を対象にシーニックナイトとの連動イベントを実施した。

プロジェクト③ その他ネットワーク事業

相談対応やネットワーク構築の為に様々な会議体への参加、機関への訪問も実施した。コーディネートを通じて、多様な主体をつなぎ、地域資源を活かした協働事業へ発展させるケースも増加している。立場や分野を超えて安心して対話できる場を継続的に生み出したことは、地域内の関係人口の拡大にもつながる成果と言える。

今年度は北海道 NPO フェンドより、休眠預金等活用法助成事業の「親サポ×就労プロジェクト 子どもと親のサステナブルサポート～不登校児の親の孤立・孤独を防ぐ持続可能な就労サポート～」におけるプロジェクトオフィサーの委託を受け、実行団体の伴走支援を実施した。北海道内の不登校児童・生徒を抱える家庭の親の離職や働き方にスポットを当てた事業であり、不登校支援の活動を実施してきた団体を中心に、道内各地の実行団体の活動を支援した。

今後も、行政、学校、企業、市民団体、大学等、他機関との連携を強化し、地域課題を単独で抱え込まない仕組みづくりを進める。

④ 人材育成及び研修に係る事業

プロジェクト① 講座開催

孤独・孤立対策の担い手育成を目的として「つながりワーカー養成講座」を市内だけではなく、近隣地域でも開催した。地域活動や福祉、教育、市民活動等に関わる、中学生から高齢者までの多様な立場の参加者が集まり、孤独・孤立の背景や地域でできる実践について学び合う場となった。また、修了生がつながり続ける仕組みを確立し、情報交換することでネットワークをさらに広げていくことのできる取り組みをおこなった。地域の中で「気づき、つながり、寄り添う」人材を増やすことは、制度だけでは解決できない地域課題への重要なアプローチであり、法人の Value のひとつである「ひとをつなぐ」を具体的に地域へ広げる機会となった。

また、当法人が実施する孤独・孤立対策に関わる多様な取り組みが北海道庁からの取材を受け、YouTube 等を通じて広く紹介されたことも大きな成果の一つである。地域での実践が可視化されたことで、近隣地域や関係機関と

の新たな接点形成にもつながった。

プロジェクト② 研修参加

スタッフ研修においても、各自が関係機関や地域の市民活動、法人運営に還元できるよう自主的に講座やセミナー等を受講した。研修の中で生まれるつながりが実施事業にも良い影響があるなど、事業やプロジェクトを超えた学びやつながりが増えてきている。また、中間支援として実施する講座開催の参考になることも多く、様々な形でスタッフのスキルを地域に還元していきたい。

プロジェクト③ 人材育成

大学生のインターンシップの受け入れやフィールドワークの受け入れなども積極的に実施し、地域づくりの担い手として育成している。当法人での活動をきっかけにボランティア活動に興味を持つ学生も出るなど、成果は当法人の関係機関にとどまらない。

⑤ まちづくりに関わる広報活動に係る事業

ホームページやSNS、紙媒体（Love Letter）等を活用し、活動の見える化に取り組んだ。単なる事業周知ではなく、「なぜこの活動を行うのか」「地域にどのような変化を生み出しているのか」を丁寧に発信したことで、支援者や協力者との関係構築にもつながった。また、地域FM放送 e-niwa でラジオ番組「こまめちゃんねる」を担当し、地域の方と一緒に出演して、活動の紹介を実施した。

認定 NPO 法人として、寄付や賛助会員制度を通じ、多様な形で市民が地域づくりに参加できる仕組みづくりを進めた結果、新たな支援者や協力者との接点形成にも進展している。

⑥ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

なし

本年度は、地域課題が複雑化する中で、「人と人をつなぐこと」そのものが地域の力になることを改めて実感した一年であった。今後も、地域の身近な存在として、多様な主体の「やってみたい」を支えながら、誰もが安心して関わり続けることのできる地域づくりに取り組んでいくものである。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

① 交流スペースの利用促進に係る事業

事業費 861,632 円

事業内容	実施月日	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数
「昔あそびひろば ブンブンゴマを作ろう」 ※恵庭市青少年育成補助金	2025 年 5 月 11 日	まちスポ恵み野	7 名	恵庭市民及び 近隣住民 44 名
コピー機やラミネートの利用	通年 (21 件)	まちスポ恵み野	21 名	恵庭市民及び 近隣住民 37 名
まちスポ恵み野の貸し出し	通年 (30 件)	まちスポ恵み野	146 名	恵庭市民及び 近隣住民 332 名
備品の貸し出し	通年 (23 件)	まちスポ恵み野	93 名	恵庭市民及び 近隣住民 多数

② まちづくりの促進に係る事業

事業費 5,820,365 円

プロジェクト① 花のまちづくり推進事業「みんなのガーデンプロジェクト 2025」

事業内容	実施月日	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数
第 36 回恵庭花と暮らし展 実行委員会参画、企画・運営支援	2025 年 6 月 28 日 ～6 月 29 日	花の拠点はなふる	多数	恵庭市民及び 道内外、全国 多数
ラベンダーの刈り取り ラベンダーワークショップ	2025 年 7 月 13 日	まちスポ恵み野 めぐみの丘	4 名	恵庭市民及び 近隣住民 30 名
アナベルの刈り取り ボールブーケづくり	2025 年 9 月 7 日	めぐみの丘	5 名	恵庭市民及び 近隣住民 40 名
FM e-niwa 15 周年イベント ラベンダーワークショップ出展	2025 年 11 月 30 日	えにあす	多数	恵庭市民及び 近隣住民 多数
「花や野菜が好きな方集まろう会」	2026 年 3 月 4 日	まちスポ恵み野	6 名	恵庭市民及び 近隣住民 4 名
花と緑のまちづくり講演会 パネラー登壇、企画・運営支援	2026 年 3 月 15 日	黄金 ふれあいセンター	21 名	恵庭市民及び 近隣住民 40 名
美しい恵み野の花の街づくり推進 協議会への参画	2025 年 4 月 21 日	恵み野会館	31 名	恵み野地区 住民 多数
恵庭花のまちづくり推進会議	2025 年 4 月 22 日	恵庭市役所	17 名	恵庭市民 多数

プロジェクト② 防災

事業内容	実施月日	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数
「mamacafé×防災」	2026 年 1 月 18 日	まちスポ恵み野	5 名	恵庭市民及び 近隣住民 15 名
北の国災害サポートチームへの参画	2026 年 3 月 5 日	オンライン	5 名	恵庭市民及び 道内住民 多数
恵庭市災害時ボランティアセンター 連絡会議への参画	2026 年 3 月 30 日	恵庭市役所	9 名	恵庭市民 多数

プロジェクト③ 子どもの生活・学習支援事業「smile ハウス」

事業内容	実施月日	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数
「smile ハウス」 ※えにわっこ応援センター委託	通年（48 回） 毎週土曜日	まちスポ恵み野 はなふる 北海道文教大学	392 名	恵み野学区の 小中学生 576 名

プロジェクト④ フードバンク事業

事業内容	実施月日	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数
食品や日用品の寄付の受け入れ	通年 3,667kg	まちスポ恵み野	ボラン ティア 寄付者 企業 多数	恵庭市民及び 近隣住民 多数
食支援団体への食品・日用品の提供	通年	まちスポ恵み野	職員 ボラン ティア 多数	恵庭市民及び 近隣住民 多数
「コミュニティフリッジ恵庭」の運営	通年	コミュニティフリ ッジ恵庭	職員 ボラン ティア 多数	恵庭市民及び 近隣住民 1052 名
「まちスポフードパントリー」	2025 年 7 月 13 日 2025 年 12 月 21 日 2026 年 3 月 8 日	まちスポ恵み野	6 名 7 名 5 名	恵庭市民 88 世帯 49 世帯 53 世帯

プロジェクト⑤ 対話によるまちづくり事業

事業内容	実施月日	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数
「コミスクかふえ」	2025 年 8 月 5 日 2026 年 1 月 21 日	恵庭市民会館 黄金ふれあい センター	7 名 8 名	恵庭市民及び 近隣住民 40 名 38 名

市民ファシリテーターの調査協力	2025 年 12 月 25 日 2026 年 1 月 20 日	オンライン 北海道立市民活動 促進センター	20 名 13 名	恵庭市民及び 北海道民 多数
-----------------	-------------------------------------	-----------------------------	--------------	----------------------

③ まちづくりに関わるネットワーク作りに係る事業

事業費 2,270,651 円

プロジェクト① 子育て支援事業

事業内容	実施月日	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数
「まちスポ おさがり交換会」	2025 年 6 月 5 日	まちスポ恵み野	12 名	恵庭市民及び 近隣住民 48 名
「つなぐ me のフリーマーケット」	2025 年 10 月 15 日 2026 年 2 月 27 日	プレスポ恵み野	7 名 8 名	恵庭市民及び 近隣住民 49 名
はぴナビかふえ 「フリ子の会」	2025 年 8 月 31 日 2026 年 3 月 14 日	まちスポ恵み野	3 名 3 名	恵庭市民及び 近隣住民 2 名 4 名
えにわ子育て応援フェス 「ママの休憩室」 出展	2025 年 9 月 27 日	黄金ふれあい センター	9 名	恵庭市民及び 近隣住民 44 名
「えにわままっぷ 8 」	2025 年 11 月 24 日	花の拠点 はなふる	24 名	恵庭市民及び 近隣住民 61 名
家庭教育支援者養成・ スキルアップ講座	2026 年 2 月 11 日	えにあす	16 名	恵庭市民及び 近隣住民 23 名

プロジェクト② シーニック

事業内容	実施月日	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数
シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺 ニセコルート ウェルカム北海道エリア 情報拠点	通年	まちスポ恵み野	多数	恵庭市民及び 近隣住民 多数
えにわシーニックナイト連動イベント 「キャンドルホルダーを作ろう」	2026 年 2 月 1 日	プレスポ恵み野	8 名	恵庭市民及び 近隣住民 34 名

プロジェクト③ その他ネットワーク事業

事業内容	実施月日	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数
「親サポ×就労」	通年	オンライン 実行団体活動地域	多数	北海道内不登 校児・生徒を 抱える世帯 多数
各種会議体への参加 団体運営に関する相談業務 中間支援業務の実施 等	通年	まちスポ恵み野 他	1131 名	恵庭市民及び 北海道民 多数

④ 人材育成及び研修に係る事業

1, 625, 439 円

プロジェクト① 講座開催

事業内容	実施月日	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数
「つながりワーカー養成講座」	2025 年 5 月 21 日	まちスポ恵み野	4 名	恵庭市民及び 近隣住民 4 名
	2025 年 6 月 24 日	かしわのもり	4 名	5 名
	2025 年 7 月 10 日	えにあす	2 名	5 名
	2025 年 8 月 29 日	まちスポ恵み野	2 名	5 名
	2025 年 9 月 7 日	まちスポ恵み野	4 名	7 名
	2025 年 10 月 5 日	北広島東記念館	4 名	33 名
	2025 年 11 月 13 日	まちスポ恵み野	2 名	5 名
つながりワーカー交流会	2025 年 11 月 16 日 2025 年 11 月 27 日	えにあす まちスポ恵み野	多数	北海道内不登 校児・生徒を 抱える世帯 多数
つながりワーカー実践 「フリ子の会」 「お花のおはなしサロン」	2025 年 10 月 5 日	まちスポ恵み野	4 名	恵庭市民及び 近隣住民 5 名
	2025 年 11 月 28 日	まちスポ恵み野	2 名	9 名

プロジェクト② 研修参加

事業内容	実施月日	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数
研修参加 花のまちづくり 防災 子どもの生活学習支援 フードバンク 対話によるまちづくり その他ネットワーク 広報 管理	通年 1 件 3 件 3 件 1 件 1 件 14 件 3 件 13 件	オンライン 各研修会場	スタッフ 5 名	活動に 関わる方々 多数

プロジェクト③ 人材育成

事業内容	実施月日	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数
フィールドワーク受け入れ	2025 年 7 月 3 日	まちスポ恵み野	6 名	北海道文教大 学地域未来学 科 学生 13 名
インターンシップ受け入れ	2026 年 2 月 7 日	はなふる	22 名	北海道文教大 学国際学部 学生 16 名
	2026 年 2 月 8 日	恵庭ふるさと公園	32 名	16 名

⑤ まちづくりに関わる広報活動に係る事業

1,332,143 円

事業内容	実施月日	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数
Love Letter の発行	4 月 12 月	まちスポ恵み野	多数	まちスポの 活動に興味の ある方 多数
こまめちゃんねる	毎週火曜日	えにあす	多数	恵庭市民及び 近隣住民 多数
ホームページや SNS による情報発信	通年	まちスポ恵み野	多数	まちスポの 活動に興味の ある方 多数